



# 元気なまち 住んで良かった 住み続けたいまち北広島

うえのまさみ  
北広島市長(北海道) 上野正三  
*Masami Ueno*



「寒地稲作発祥の地の碑」と「クラークの記念碑」の前にて

への準備にも  
つながります。  
今年1月  
3日から本格  
的な練習を開  
始し、2月末  
の「湧別原野オ  
ホーソククロス  
カントリース  
キー大会」70km  
コースに挑み、  
完走を目指し  
ます。  
若いころは、  
野球一筋の青  
春でしたが、

## 自然あふれるまちに住み

北海道外の地を訪れ、初めてお会いする方には、「北海道の北広島市から来ました」と北海道を強調し、名刺に北海道を入れ、あいさつをするようにしています。北広島市を広島県にある都市と間違われる方が多いからです。  
私が住む北海道北広島市は、明治17年に広島県人の和田郁次郎ら25戸103人が、一村形成を目指し原始の森に開拓の鋤を入れ、まちづくりが始まります。広島県人が開拓したことが市名の由来となっており、現在も広島県との交流が盛んに行われ、東広島市とは姉妹都市交流が行われています。



姉妹都市東広島市との交流(左 筆者 右 東広島市 蔵田市長)

市内にはゴルフ場が8カ所252ホールあり、ゴルフ銀座と言われています。ゴルフを愛好する方には、女子プロゴルフツアーの「明治チヨコレートカップ」、男子プロゴルフツアーの「ANAオープン」の開催地としてピンとくる方が多いかもしれません。

190万都市、札幌市の南東部に隣接し、JRでは札幌から16分、新千歳空港から20分、面積約120km<sup>2</sup>の本市は、豊かな緑の環境、ゆとりの土地空間、整備された交通網など、自然と都市機能が調和したまちづくりを目指し、充実した生活環境が市民生活を支えています。

公園や森林などの緑地面積は79.3haで、全市面積の約67%を占め、1人当たりの公園・緑地面積は道内市町村の中でもトップクラスであり、市街地まで多様な緑がみられます。森林の中に整備された札幌恵庭自転車道線「エルフィンロード」や輪厚川、千歳川などを中心とした親水機能の整備により、市民をはじめ近隣住民からも広域的に親しまれるなど、身近に自然とふれあえる場所が数多くあります。

## 健康が一番の宝

私が当時の広島町役場に入庁したのが、昭和45年です。入った当時の人口は、9000人台で、まだ純農村の雰囲気

クロスカントリースキーに出会ってからは、厳しい北海道の自然に立ち向かう醍醐味に魅了され、雪国に生まれた喜びを感じる事ができるこの競技が私の一番の趣味となりました。

この競技を通して、健康と多くの仲間を得ることもできました。

## 古き(歴史)を学び 未来を望む

4月からは、新たな「北広島市総合計画」がスタートします。

最初の総合計画がスタートしたのが、昭和45年。私の公務員生活と一緒に歩みだした総合計画も、第5次となり、今回定めたまちづくりのテーマは、その時々において将来の都市像のとらえ方の差はあるものの、「自然や緑の中で、いきいきと生活する人々と躍動する産業があるまち、そのような豊かな都市」を目指すことに変わりはないと考え、最初の総合計画を策定して以来一貫して継承してきた「自然と創造の調和した豊かな都市」を継承しました。目指す都市像として、「希望都市」「交流都市」「成長都市」の3つを掲げ、着実に成長を続けるまちを目指します。

明治4年、北広島市島松に移住した中山久蔵は、米作りに挑戦します。当時は冷涼な気候のため米作りは道南の温暖な地域以外、不可能とされておりましたが、



エルフィンロードハーフマラソン大会のスタートの様

色濃く残す町でしたが、入庁した年から始まった面積440ha、戸数約8000戸、3万1000人が住む計画の「北広島団地」造成や工業団地の開発などにより人口が急増し、平成8年には北海道で33番目の市となり、現在人口は約6万1千人を数えています。

この緑豊かな「北広島団地」に昭和50年に居を構え、生活しています。

市役所までの距離、約2kmを、今もできる限り徒歩通勤を心掛けています。自宅を出ますと公園が広がり、北広島団地内を周回する延長5kmの歩行者・自転車道路「トリムコース」がJR北広島駅へとつながります。駅の東西エリアを結ぶ橋上のエルフィンパーク交流広場では、展

風呂のお湯を田に流すなどして、明治6年、米作りに成功しました。その種もみを無償で配り、全道各地に米作りが広がり、北海道が大稲作地帯になる基礎を築きました。また、明治10年、札幌農学校(現北海道大学)に初代教頭として着任していたクラーク博士が帰国する際、現在の旧島松駅通所において、見送りにきた学生達に「ボーイズ・ビー・アンビシャス(青年よ大志をいだけ)」の言葉を残し、今もその精神は北海道民に、そして北広島市民に受け継がれています。

私も先人の方々の志や労苦を忘れることなく、緑豊かな風土を大切に守り、いっそう快適で、安心して暮らせる地域社会を築き、未来を担う子どもたちに引き継いでまいります。



未来を担う子どもたち